

1 2024 年度基本方針に対する総括

（１） S S K 創立 2 0 周年記念イベントと中期計画の策定

2025 年 4 月 5 日の S S K 創立 20 周年記念イベントに向けて、「20 年のあゆみ」を作成した。それに併せて 2025 年度以降の事業体系を作成した。（冊子最終ページの図参照）

（２） 居場所を通じた社会的包摂

四日市市から新たに「地域のつながり強化事業」（重層的支援体制整備事業）を受託し、さまざまな分野の居場所キーパーソンとつながり、「四日市居場所ネットワーク」構築に着手した。

（３） ソーシャルビジネスの取り組み強化

- ・伊勢おやき本舗においては開店 10 周年記念商品の「ドリア」と「バナナ」、スプラウトにおいては新商品「さえとしおりのキーマカレー」を開発した。（5 月から発売）
- ・みえ市民活動ボランティアセンター事業として「B 型事業所等が実施するソーシャルビジネス実態調査」を実施した。

（４） 広報力の強化

「SSK ちゃんねる」「ほくサポちゃんねる」を隔週公開し、一定の視聴者を得た。

（５） 四日市 N P O 協会の「四日市 N P O プレゼンテーション大会」を通じた N P O の政策提言力の強化

1 月 13 日に第 1 回「四日市 N P O プレゼンテーション大会」を開催し、成功をおさめた。5 団体の政策／事業提言は、実現に向けて継続して取り組み、その歩みを次年度末に報告書にまとめて発信することになった。

（６） 地域貢献の促進

ユニバと S S K がグリーンモール商店街の役員となり、諸事業の遂行を通じて諏訪商店街への貢献に務めた。

（７） ユニバーサル就労センターとの連携した就労支援の強化

就労支援において日常的に緊密な連携を行ったほか、合同で行った「静岡方式」の研究において、「働くことは完全栄養」の共同理念を得た。

2 市民のための研究室

（１） 人権

概ね当初の予定通りの取組みを行い、仕様書を超える成果を上げたほか、新たな要請もあり、「人権」をテーマとする団体としての認知度が上がっていると考えられる。

① 「実践行動につなげる人権のまちづくり研修支援事業」（三重県委託事業）

県民に対して「人権尊重の視点に立ったまちづくり」に関する研修会を実施する。仕様書では 25 回程度、参加者数 500 人をめどとするとされていたが、結果的に 29 回、1019 人の受講者となった。（次ページ実績一覧参照）

【今年度の特徴】

- ・子どもの人権に関する依頼が多かった。
- ・地域・企業・学校等から幅広いテーマの依頼があった。

	実施日	団体名	所在地	人数	演題	講師
1	5月17日	四日市男女共同参画センター	四日市市	22	ささえあう地域づくり	松井
2	7月9日	紀北地域人権まちづくり推進協議会	尾鷲市	28	人権の視点から考える災害対応	松井
3	7月19日	地域づくり研究会	四日市市	28	ささえあう地域づくり	松井
4	7月29日	三重県下水道公社志茂川浄化センタ	津市	15	人権ってなんだろう	松井
5	8月8日	常磐地区人権同和教育推進協議会	四日市市	32	身近な人権を話し合うための ファシリテーション	松井
6	8月19日	多気町人権教育研究協議会	多気町	60	こどもまんなか社会を目指して	松井
7	9月6日	松阪市立朝見小学校 PTA	松阪市	40	人権とは何か	松井
8	9月12日	八郷西小学校区補導委員会	四日市市	22	こどもの人権	松井
9	9月14日	常磐地区人権同和教育推進協議会	四日市市	38	こどもまんなか社会って何	松井
10	9月21日	四日市市人権問題研修会	四日市市	26	人権の基本	松井
11	9月21日	一般社団法人食の輪よっかいち	四日市市	45	食でつながる支え合う地域づくり	松井
12	10月10日	伊賀市立上野南小学校	伊賀市	42	こどもの人権を考える	松井
13	10月16日	デリカ食品株式会社(一般職向け)	松阪市	16	職場の人権	松井・金
14	10月21日	松阪市社会福祉協議会	松阪市	95	人権の基本	松井
15	10月23日	デリカ食品株式会社(管理職向け)	松阪市	18	ハラスメント	松井
16	11月2日	四日市内部地区人権教育推進協議会	四日市市	22	無縁社会と家族	松井
17	11月12日	四日市市障害者体育センター	四日市市	6	障害者の人権	松井
18	11月16日	大矢知興譲小学校 PTA	四日市市	96	子どもの人権	松井
19	11月21日	ユニバーサル就労センター	四日市市	18	地域とつながる就労支援	松井
20	11月23日	阿坂小学校 PTA	松阪市	65	インターネットと人権	松井
21	11月23日	山之一色町自治会	四日市市	23	高齢者の人権	松井
22	11月24日	波木が丘自治会	四日市市	25	無縁社会と家族	松井
23	12月3日	障害者支援施設くわのみ	桑名市	4	障害者の人権	松井
24	12月17日	松阪市立機殿小学校 PTA	松阪市	60	部落差別問題について	松井
25	2月10日	太陽生命株式会社	四日市市	28	ハラスメント	松井
26	2月12日	川越町老人クラブ連合会	川越町	30	高齢者の人権	松井
27	2月13日	ユニバーサル就労センター	四日市市	15	障害者虐待防止	周
28	3月3日	伊賀ふるさと農協	伊賀市	40	職場の人権	松井
29	3月12日	徳風高校	亀山市	60	外国人の人権	松井

1019

② 四日市市民人権意識調査（四日市市委託事業）

③ その他の人権研修

- ・ 四日市市人権フェスタ協力「メディアリテラシー」(メタバース)
- ・ C T Y職員研修（人権の基本）
- ・ 四日市市職員研修（新規採用職員・係長職候補者・課長補佐級）（人権の基本）
- ・ 三重県老人クラブ連合会（高齢者の人権）
- ・ 四日市市男女共同参画推進員研修（性の多様性）

(2) 市民共育

新たにニュースカフェを開設したほか、外部組織と連携して市民教育を行った。

① ニュースカフェの開設

2025 年 1 月から、新たに毎月 1 回ニュースを題材に学び合う場を開設した。(スプラウト)

曜日	時間	テーマ・チューター等
1 月 11 日 (土)	10:00～11:30	「103 万円の壁」 小林茂樹さん (年金アドバイザー)
2 月 15 日 (土)	10:00～11:30	「選択的夫婦別姓」 松井幸夫さん・金憲裕さん
3 月 15 日 (土)	10:00～11:30	DVD「Amazon 配達員—送料無料の裏で」 視聴

第 1 回の様子

② 連携する組織が行う人権・市民教育に関する事業への参加・協力

- ・ NPO 法人みえ NPO ネットワークセンター (みえ市民活動ボランティアセンター)
未来のシティズンシップ講座、グローバル市民講座 等
- ・ (公財) ささえあいのまち創造基金
四日市市地域づくりマイスター養成講座
- ・ (一社) 食の輪よっかいち
食品事業者と学ぶ食品ロス講座

③ その他

- ・ 四日市市熟年大学：「地域で市民活動・市民協働を進めるために」

(3) 市民の政治・行政への参画支援

四日市 NPO 協会事業として、四日市市議会議員と連携して第 1 回「四日市 NPO プレゼンテーション大会」を実施し、多くの参加者を集めて成功させた。

① 四日市 NPO プレゼンテーション大会&政策・事業構築事業 (四日市 NPO 協会事業)

5 つの NPO が課題を政策や事業にして発表し、多くの人の共感を得た。交流会も行った。



発表団体名(提案)	評価	参加希望
ライブラリーフレンズ(市民協働でつくる新図書館)	A29 B40 C15	20
食の輪よっかいち(事業者と消費者をつなぐ食の拠点)	A41 B41 C5	30
三重県多胎育児サークルふたば(多胎育児児を支援する4つの提案)	A73 B12 C1	30
四日市男女共同参画研究所(暮らしのワンストップ相談『保健室』)	A14 B46 C21	16
防災一座(国際標準の人的な被災者支援体制づくり)	A32 B47 C4	18

② 連携する中間支援組織等が行う政治・行政への市民参画に関する事業への参加・協力

- ・みえ市民活動ボランティアセンターの「市民活動に関する調査と政策対話」

2024年度は「ソーシャルビジネス」について、B型事業所を中心に調査を行った上、県及び市町担当者との意見交換を行った。

- ・ライブラリーフレンズが実施する市民参加による図書館づくりの取組みに協力した。

9/16 図書館フォーラムにおける「みんなでつくる図書館」の問題提起 等

(4) 調査研究

SSK独自の調査研究は十分にできなかったが、関連団体においてB型事業所を中心に「ソーシャルビジネス」に関する実態調査を行い、2023年度に行った韓国研修の成果(障害者事業所のソーシャルビジネス支援)を今後に生かす契機ができた。

① 各種調査研究

三重県のソーシャルビジネスの実態調査(みえ市民活動ボランティアセンター事業)

(調査結果の一部) ソーシャルビジネスの課題と支援機能の整備

【課題】

ビジネスの売上がなかなか上がらない	37 (45.7%)
広報力が十分でない	28 (34.6%)
事業継続のための助成金、委託などの確保がむずかしい	27 (33.3%)
サービスや物品開発のためのノウハウが十分でない	26 (32.1%)
スタッフの人材不足	10 (12.3%)
経理・法務などの知識が十分でない	9 (11.1%)
その他	9 (11.1%)

【非営利組織が行うソーシャルビジネスの支援機能の整備】

必要である	44 (57.9%)
必要ではない	2 (2.6%)
どちらでもない	8 (10.5%)
わからない	22 (28.9%)

② 研究成果の発信

中島久恵会員が執筆した「四日市市内戦争と死者に関わる碑及び施設」を出版した。
大阪市立図書館から寄贈の依頼が来るなど、高い評価を得た。



3 だれ一人取り残さない社会づくり（ユニバーサル就労センターと連携）

（１）北勢地域若者サポートステーション

就職等数は徐々に上向き傾向であるが、困難な事例が増えている。若年者に関してはコロナ禍での自粛期間からコミュニケーションの学びを経験していないことによるコミュニケーション困難者の増加や、発達障害傾向がみられる方の支援が増えている。また、生活困窮者の相談も増加傾向にあり、より行政機関との連携が必要となっている。

そんな中、新規獲得のため行った PR セミナーでは、参加者 14 人中 11 人が本登録となった。また、ハローワーク四日市で 8 月から 12 月まで月 2 回、失業給付金説明会を狙ってチラシの配布を行ったほか、支援する側へのサポステ周知を強化した。目標数字の達成をへ、最後まであきらめずに職員一同が利用者の為に一丸となって取り組んだ。

① 数値目標

- ・就職者等数：120 人→106 人
- ・目標達成率：80%以上→88.3%
- ・新規登録者数：170 人→104 人

② 集中訓練プログラム

今期も年 2 回（40 日間×2 回）のプログラムを開催した。（定員各 10 名）

前期：9 名 後期 8 名 合計 17 名の参加者の内 11 名が進路決定した。

③ 相談業務

相談件数が R4 年 2736 件・R5 年 2877 件・R6 年 3127 件と年々増加している。

スタッフの支援回数が増えている事が進路決定の増加につながっている。また難事例が多い事も増加の一因と考えられる。

④ 就職氷河期世代支援

新規登録者が R4 年 17 名・R5 年 17 名・R6 年 24 名と増加傾向にある。それに対して進路決定が R4 年 13 名・R5 年 13 名・R6 年 14 名と難しくなっている事がうかがえる。

⑤ 講座・セミナー

セミナー実施回数は R4 年 69 回・R5 年 88 回・R6 年 79 回

進路未決定者の参加者数：R4 年 172 人・R5 年 258 人・R6 年 144 人

進路決定後の参加者数：R4 年 39 人・R5 年 69 人・R6 年 75 人

R5 年度に支出が増加したことを受けて、R6 年度は回数を減らしたが、進路決定に響くことは無かった。また進路決定後の利用者の参加率が年々増加傾向にある。

⑥ ユニバーサル就労センター、スプラウトとの連携

ユニバーサル就労センターへ障がい者雇用につながる方はリファーするようにしている。スプラウトのトレーニングに関して、短期はもちろん長期的なトレーニングの場として欠かすことができない場となっている。R6 年度は 3 人が長期トレーニングを行った。

⑦ 学校連携・行政窓口連携

三重県教育委員会の委託事業「成長・実感・達成！多様な学び・進路実現事業」も 2 年経過し、県立高校内では職員間で周知されつつあるが、生徒への周知には至っていない。

・学校連携：訪問日数 R4 年 20 日・R5 年 51 日・R6 年 42 日

授業回数 R4 年 0 回・R5 年 13 回・R6 年 25 回

面談件数 R4 年 70 回・R5 年 106 回・R6 年 70 回

・行政窓口：三重県労働局との関係性を深める事に注力し、ハローワークとの連携部分で一定の評価を得た。四日市市においては、商業労政課、福祉総務課との連携が構築され支援の幅が広がり難事例に対応する道筋ができた。

過去 3 年間の推移一覧

	R4	R5	R6
目標数値（進路決定）	120	120	120
進路決定	92	99	106
目標達成率	76.7	82.5	88.3
新規登録数	109	83	104
相談件数	2736	2877	3127
講座・セミナー回数	69	88	79
講座・セミナー参加者数	211	327	219
内氷河期世代			
新規登録	17	17	24
進路決定	13	13	14
学校連携			
訪問日数	20	51	42
授業回数	0	13	25
面談件数	70	106	70

動画を活用した広報



（２）伊勢おやき本舗

ユニバのＢ型利用者をはじめ、多くの体験者を受け入れたが、一人ひとりの成長がみられ、就労支援が大変効果的に行われた。ソーシャルビジネスとしても、利用者との共同開発に取り組むなど、「ユニバーサル就労」に着実に取り組んだ。

① ソーシャルビジネスの取り組み

2024年５月に開店１０周年を迎えたことから、おやきの新商品「ドリア」を発売し、また「バナナ」も発売した。販売員が不在なため、多くの売り上げが見込めるイベント販売の減少が課題となっている。サブレは四日市大学の卒業式用の発注がなくなったため売上げは減少したが、じばさんをはじめ注文数は増加しており、またマックスバリュース江城店でも継続して販売していただけになった。

売上実績（円）

年度	2020	2021	2022	2023	2024
おやき	600, 610	595, 812	588, 240	645, 900	608, 150
サブレ	761, 680	429, 998	854, 815	926, 541	643, 147
ユニバ弁当	994, 100	886, 400	541, 200	719, 400	783, 400
他	268, 950 (ピロシキ等)	0	262, 160 (和プリン)	217, 030 (和プリン)	8, 510 (和プリン)
合計	2, 625, 340	1, 912, 210	2, 246, 415	2, 508, 871	2, 043, 207

マックスバリュ山城店

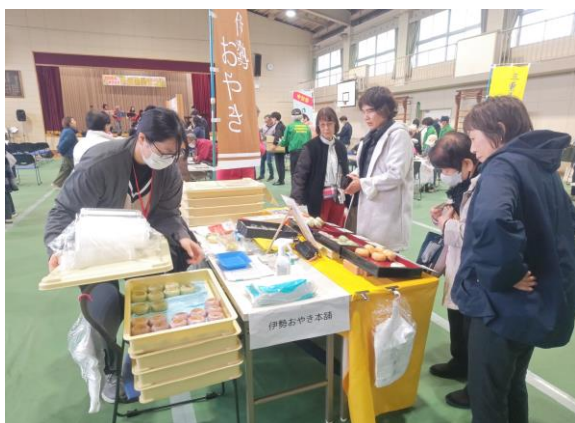


② 就労支援の取組み

B型の利用者は、3 カ月の短期的な目標を決めて取り組んだことから、一人ひとりの成長が、おられた。また通所日数が増加した。就労体験者が増加しており、コミュニケーション力や作業スキルを鍛える機会になっている。しかし、人数が多いため一人ひとりの能力差や意識レベルに合わせたきめ細かな指導は、忙しい時などには少し雑になる面がみられた。

B 型、就労体験等受入れ人数

	B 型				就労体験			
	2021	2022	2023	2024	2021	2022	2023	2024
ユニバ	3	5	6	6	4	10	5	11
ほくサポ	—	—	—	—	6	6	3	3
その他実習生 (特別支援学校)	—	—	—	—	3	4	3	10



(3) トレーニングカフェ・スプラウト

四日市市の生活困窮者就労準備支援事業の受託を受けているが、受入れ人数が少ないのがこれまでの課題であった。2024 年度は四日市市と共に対策の検討に取り組んだ。「さえとしおりのキーマカレー」はソーシャルビジネスとして期待できる。

① ソーシャルビジネスの取り組み

- ・名古屋市在住の「しおりさん」との出会いにより、しおりさん直伝の「さえとしおりのキーマカレー」の開発に取り組んだ。(発売は 2025 年 5 月 1 日)

売上 (円)

2019	2020	2021	2022	2023	2024
5,802,540	4,442,790	3,429,100	2,363,800	2,102,309	2,923,660



② 就労支援の取り組み

- ・多様な受け入れ先から、多様な訓練生を受け入れた。
- ・調理や接客等、カフェならではのトレーニングにより、訓練生に自信が向上した。
- ・四日市市社協が行う生活困窮者対策連絡会議に参加するほか、四日市市とも協議を行い、2025 年度から生活保護受給者の就労準備支援に取り組むことになった。

就労トレーニング生等の受け入れ人数 (人)

派遣元	受入れ人数			
	2021	2022	2023	2024
四日市市(生活困窮者就労準備支援)	4	4 (紹介 6)	4	2
ユニバ	13	12+B 型 2	10+ B 型 2	11+B 型 1
ほくサポ	5	6	4	4
体験 (特別支援学校等)	0	3	9	5

③ その他

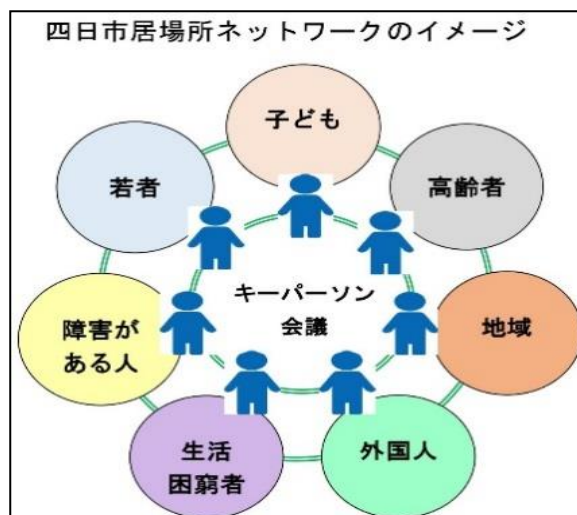
- ・ニュースカフェを開始した。(2025 年 1 月～)
- ・四傾聴が実施する「とまり木カフェ」の場所を提供した。
- ・SSK・ユニバスタッフへの軽食販売など、食品ロス削減への積極的な取組を行った。
- ・大型スクリーン、Wi-fi 環境の整備などにより、居場所としての利便性が向上した。

4 居場所を通じた社会的包摂

(1) 「地域のつながり」強化事業（四日市市委託事業）

四日市市内に多数ある「居場所」をつなぎ、「四日市居場所ネットワーク」を構築して、福祉的課題等を抱える人を包摂することを構想する事業の一步を踏み出した。キーパーソン相互の関係性が生まれたことから、今後の発展が期待できる。また市内の居場所の数を確認する作業を行い、現段階で市内に 2186 か所の居場所が存在することが明らかになった。

① 居場所キーパーソンの選定及びキーパーソン会議の実施（3 回）



居場所キーパーソン会議メンバー一覧

分野	名前	所属団体
子ども	上野尚子	四日市市学童保育連絡協議会 会長 海蔵学童保育所 所長
若者	若林辰也	株式会社デルタスタジオ 代表取締役
若者	小林理華	北勢地域若者サポートステーション 所長
高齢者	谷口欽衛	NPO 法人下野・活き域ネット 理事長
高齢者	坂倉加代子	NPO 法人四日市 D サポート 理事
障害者	水谷泉	四日市市手をつなぐ育成会 副会長 NPO 法人四日市市知的障害者育成会おのえ作業所 所長
障害者	中島千恵	障害者相談支援センター ソシオ（社会医療法人会居仁会）
生活困窮者	原田塩子	四日市市社会福祉協議会生活支援室 室長
外国人	樋口恵美	一般社団法人グローバルユース 理事
地域	内田寛	羽津地区まちづくり推進協議会 会長
地域	高井俊夫	NPO 法人ニコニコ共和国 理事長
行政	山岸幸 熊崎佑介	四日市市役所健康福祉部福祉総務課福祉支援係
中間支援 （つなぎ役・ 事務局）	松井真理子 辻高宏 伊藤佳代	NPO 法人市民社会研究所

② 居場所調査

地域で実施しているさまざまな分野の居場所活動を把握するため、HP や広報紙、四日市市への聞き取り等による調査を行った。現時点で 2,186 の「居場所」を把握し、その内容はデータ化を行った。今後、詳しい情報を集め、詳細なデータ化を進める。

③ ゲームを使った居場所相互の交流会の実施（異なる分野の居場所交流会の実施）

津市 NPO サポートセンターの川北理事長を指導者に迎え、様々な居場所で交流会を実施した。3 月 20 日には、全体的な「四日市居場所交流会」を開催した。

- ・開催日時：2025/3/20(木祝) 13:00～16:00
- ・場所：四日市市文化会館第 4 ホール
- ・参加者数：211 名（居場所スタッフ 47 名）
- ・参加団体：22 団体（居場所ネットワーク構成団体 12+10 団体）

（※10 団体：みんなこ・viva あみーご・UD ほっとねっと・四日市案内人協会・NPO 法人子ども食堂四つ葉 SK・一般社団法人あしたの葉・四日市羽津医療センター附属介護老人保健施設・NPO 法人ユニバーサル就労センター・シニアサークル「男の囲炉裏端」の会・寺子屋サムライ道場）

- ・内容

【ステージパフォーマンス】

ステージパフォーマンス団体	演目	
海蔵学童保育所	エイサー	海蔵学童保育所は日本舞踊やエイサーなどの文化活動に力を入れており、今回はエイサーを披露してくれた。こどもたちが叩く太鼓や踊りの勇壮さで参加者を魅了した。
シニアサークル「男の囲炉裏端」の会	昭和歌謡	定年を迎えたシニアの居場所づくりを行っている「男の囲炉裏端」の会は、懐かしの歌謡曲を披露。こども向けの選曲もあり、こどもが飛び入りで一緒に歌ったり、参加者が手拍子したり、会場を巻き込んだステージとなった。
寺子屋サムライ道場	格闘技披露	外国人学習支援やこども食堂、格闘技を通じた居場所を行っている寺子屋サムライ道場。外国人の若者がミット打ちや蹴りを披露してくれ、こどもたちは「スゴイ」と歓声を上げていた。
四日市市手をつなぐ育成会	ダンス	障害者本人が主体的に参加できる余暇活動を行っている手をつなぐ育成会によるダンス披露。日頃の練習の成果を発揮し、楽しそうにダンスをしている姿を、こどもたちが食い入るように見ていた。



【ボードゲームで交流】

9テーブルにそれぞれ違うボードゲームを用意。メインのボードゲーム指導者以外に、各テーブルにボードゲームサポートスタッフ(若者ボランティア)を配置し、時間管理とボードゲーム説明を行ってもらった。ボードゲームをやりたい参加者に整理券を配り、順番に指定のテーブルに4~5名程度座り、ボードゲームを楽しんでもらった。

こどもも若者も高齢者も外国人も障害がある人も同じテーブルでボードゲームをやり、その場で気軽に会話が生まれ、自然とコミュニケーションが取られていた。また、参加した居場所スタッフから、「こどもたちだけでも簡単にできるボードゲームがあることを知らなかった。自分たちの居場所でやってみたい。」という声が上がっていた。



④ 居場所ネットワーク通信の発行(毎月1回)

(2) 他団体の居場所事業への協力

四傾聴：とまり木カフェ(スプラウトを毎月2回提供)

ユニバ：歌声喫茶(スプラウトを毎月2回提供) など

5 ネットワーク型中間支援組織の運営・協働

(1) 公益財団ささえあいのまち創造基金(事務局)

(2) (特活) みえNPOネットワークセンター(事務局 → みえ市民活動ボランティアセンター)

(3) 東海市民社会ネットワーク(会員)

(4) 四日市NPO協会(事務局)

(5) (一社) 食の輪よっかいち(事務局)

6 組織基盤強化

(1) SSK・ユニバ合同研修会

・原則毎月1回開催

・静岡研修(NPO法人青少年就労支援ネットワーク静岡)

6:00 出発 近鉄四日市駅西側付近(富士交通 中型バス)

10:00~12:00 NPO法人青少年就労支援ネットワーク静岡

10:00~11:00 津富宏先生のお話(元代表理事・現立教大学教授)

「地域とつながる就労支援(静岡方式)」

11:00~11:20 静岡サポステのお話

11:20~12:00 質疑・意見交換 40~50分

12:20~14:20 エスパルスドリームプラザ

15:25~15:45 浜松SA

17:35 近鉄四日市駅西側付近

(3) 広報の強化

Youtube「SSKちゃんねる」「ほくサポちゃんねる」

- ・SSKちゃんねる：第1，第3水曜日に公開
- ・ほくサポちゃんねる：第2，第4水曜日に公開
- ・撮影・編集は辻スタッフが担当



7 地域貢献

(1) 外部団体の研修の受け入れ (SSK+ユニバ)

県立看護大学 都留文科大学神長ゼミ

(2) 四日市市食べきり推進店の協力 (スプラウト・伊勢おやき本舗)



(3) 地域のイベントへの協力 (スプラウト・伊勢おやき本舗)



諏訪交流館ハロウィンイベント

(4) サポステボランティア

毎週木曜日に、サポステ利用者による地域の社会貢献活動を行った。

(5) グリーンモール商店街の役員として商店街の発展に協力

会長 ユニバ

会計 伊勢おやき本舗